

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟で多様な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。</li> <li>生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新教育課程を決定する。</li> <li>②ICT機器等を活用することで、生徒が主体的に学べる環境を構築し、分かりやすい授業を実現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各教科や各課程と協働して、新学習指導要領の趣旨を踏まえた新教育課程を編成する。</li> <li>②授業の「ちょっと×2」の視点を踏まえ、職員研修会等ノウハウの共有を図るとともにBYOD回線やクラウドサービス等を活用した推進を通して、レポートやスクーリングにおける活用方法を模索する。</li> <li>③ICT機器はツールであり、肝心なのはやはりレポートやスクーリングの改善であることから、継続して生徒主体の授業研究を研鑽する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新学習指導要領の改訂に伴う課題に対応した新教育課程を編成することができたか。</li> <li>②課程・教科を超えてノウハウを共有を図り、「ちょっと×2」の視点やICT機器等を活用した実践を推進することができたか。</li> <li>③生徒の授業評価や、個々の声に謙虚に傾聴しながら、教員の自己満足で終結していないかを検証しつつ、自らの授業評価を客観的に判断する。</li> </ul>					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。</li> <li>学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①外部の関係機関の人材と連携し、支援体制の充実を図る。</li> <li>②生徒が主体的に活動し、自己肯定感が高められる環境づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①SSW、SCとは月1回の連絡会議を持つ。サポステと連携し、カフェの活性化を図る。</li> <li>②生徒会等の活動を支えつつ、生徒が活発に発言し行動できるよう、生徒と協働しながら行事運営を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒情報を共有し、充実した生徒支援ができたか。カフェを活性化できたか。</li> <li>②通信制生徒の行事参加の増加と、何より笑顔があふれ、自由に言動できる学校環境の構築が実感できたか否か。</li> </ul>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①多様な課題を抱える生徒に対応するキャリアサポート体制の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCCとの連携による就職支援の充実。</li> <li>・多彩なキャリアプログラムによる進路決定、実現の支援。</li> <li>・グループ内での情報共有、担任との連携による進路支援体制の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望者の望む進路実現が達成されたか</li> <li>・多彩なキャリアプログラムを提供できたか。</li> <li>・情報共有、連携によって充実した進路支援ができたか。</li> </ul>					
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に理解され、信頼される活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①防災活動について地域との協働を図る。</li> <li>②教育活動の情報発信の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①厚木市や近隣自治会と協働して、「避難所運営マニュアル」や「洪水時の避難確保計画」等を策定する。</li> <li>②スクーリング公開やホームページでの広報活動の充実、中学校教員向けの説明会の実施など通信制の情報の発信に努める。</li> <li>②生徒会等を中心に、生徒主体に地域活動にどのように参加・協力できるかを検討し、実行できるものから着手して行きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「避難所運営マニュアル」「洪水時の避難確保計画」を策定できたか。</li> <li>②学校説明会やスクーリング公開、ホームページなどで十分に情報発信ができたか。</li> <li>②地域の方や保護者、あるいはSNSなどからの評価や意見を、可能な限り収集し、生徒が地域に協働できたか、正しく理解されたかを検証して見たい。</li> </ul>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全、安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。</li> <li>フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。</li> <li>生徒と向き合う時間を確保するために、教員の働き方改革を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校運営マニュアル等の内容の充実を図る。</li> <li>②ICT機器の活用により、学校運営の円滑化をさらに推進する。</li> <li>③長期休業期間中に学校閉庁日設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「学校防災活動マニュアル」「洪水時の避難確保計画」「避難所運営マニュアル」等の内容の充実を図る。</li> <li>②効果的な情報共有の追求を図り、セキュリティ意識の向上を目指すとともに快適なICT環境の構築を目指す。</li> <li>③閉庁期間を有効に使用して「働き方改革」を推し進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「学校防災活動マニュアル」「洪水時の避難確保計画」「避難所運営マニュアル」等の内容が充実したものになったか。</li> <li>②セキュリティ意識を踏まえ、情報共有を円滑かつ効果的に行えたか。使いやすいICT環境整備が推進できたか。</li> <li>③閉庁期間を有効に使用できたか。</li> </ul>					